

MJ 無線と実験 No.1174
DECEMBER—2020 - JAPAN

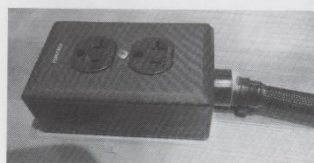


フルテック 106-D NCF

ACコンセントカバー

本体価格 ¥12,800

プレートの裏面は艶消しの材料でダンプされている



筆者自作のACタップに使用した

フルテックは、静電気と微細振動を低減するNCF素材を開発し、コネクターやケーブルを支えるBoosterシリーズで注目を浴びている。同社ではNCF素材使用し、コンセントに差し込むだけで電源ノイズを低減するNCF Clear Lineを登場させ、これに並行して、電源コネクターやコンセントプレートにもNCF素材を採用した。今回紹介する本電源コンセントプレート106-D NCFは、その新製品のひとつである。

一般的なプラスチック製壁コンセントプレートは、強い再生音などで振動し、音質を劣化させると言われてきたが、本プレートでは、振動を低減するだけでなく、静電気までも低減することが注目点である。まず、その構成を説明しよう。

コア材としては非磁性ステンレス板を使用。その表裏をNCFカーボンファイバーでサンドイッチし、さらにその表裏に特殊クリア硬質コートを塗布したうえで、NCFソフトコーティング材仕上げを行っていることが特徴である。この異種素材の積層構成によって振動を低減させ、静電気も除去するしくみである。しかも厚みは5.5mmほどで、74gという軽量化も実現した。

試聴

空間描写性と音像定位が向上

本プレートは壁コンセントや電源タップで使用できるが、音質としては、同社のNCFを使用する製品と同様に、聴感上の解像度を高め、弱音を引き立てるこ

とが特徴と言え、同時に、空間描写性と音像定位が向上し、演奏の実在感が向上した印象を受けている。

私は機会があって、この特性を活かした自作電源タップを製作している。コンセントボックスは電工用の樹脂製で、同社のNCFを使用した2口コンセントGTX-D NCFおよびコンセントプレート106-D NCFを取り付けた。また、電源ケーブルは5.6スケアのTriple-C導体制で、電源プラグに同社のFI-50 M NCFを使用した。また、ボックスの内部を水晶の粒で埋め尽くし、振動と外来電磁波の低減を試みた。エージングには、かなり時間がかかったが、この自作品を使用すると明らかに、音の鮮度、解像度、ダイナミックレンジが拡張された印象を受け、かなり気に入っている。現在は、パワーアンプで使用している。

本プレートは、壁コンセントなどに使用するだけでなく、自作電源タップで使用すると良いであろう。実に愛着が湧き、オーディオが楽しくなるのである。

(角田郁雄)

資料請求先

フルテック株式会社 MJ12 係
〒142-0041 東京都品川区戸越3-9-1 フルテックビル
☎ 03-6451-3941 (代) <http://www.furutech.com/>